

CESAプログラム

『里山の自然と暮らしを守る砂防工事』

外谷川補助砂防総合流域防災工事 作業所

日時 平成20年7月9日 AM9:30~12:00

長浜市立神照小学校6年生 93名



高島鉦建 株式会社

発注者:滋賀県 湖北地域振興局長浜建設管理部

現場名:滋賀県発注 外谷川補助砂防総合流域防災工事

施工場所:滋賀県長浜市醍醐町

工期:平成19年3月22日～平成22年9月30日

工事概要:砂防堰堤工 1基、付替林道 424m、付替里道 231m

主催:高島鉦建 株式会社、滋賀県 湖北地域振興局長浜建設管理部

共催:NPO法人CESA

協力:NGO環境計画市民会議、長浜市教育委員会

今回のCESAプログラムの趣旨

メディアの過剰なまでの取り上げのよ、公共工事に対するイメージが悪くなる事が多い中、なぜ、この工事が必要なのか、環境破壊をしているのではないかなど、多くの方が誤解をされておられます。

今回の工事の砂防堰堤(ダム)の必要性や作業現場での環境対策の取り組み、工事施工時に見る事が出来る地層や草木などの勉強、建設機械からの見える景色を体感していただくことにより、その必要性の理解と、環境保護の取り組みを肌で感じていただくため、このような取り組みを実施しております。

長浜市立 神照小学校にて、**工事の必要性、作業現場での環境対策**について、滋賀県 湖北地域振興局 長浜建設管理部 森氏、続けて高島鉱建 株式会社 古谷作業所長よりお話がありました。



また、NPO法人CESA 今村環境マスターより、**地層の構造や、仕組み、地層から見えてくる歴史**などの勉強を行い、この後作業現場へ移動した際に様々な発見をしていただきたいです。

「バスに乗り、いざ作業現場へ LET 'S GO !!」

今回は、参加人数が多いので、3つの班に分かれて行動しました。A班は、草木の勉強、B班は、地層の勉強、C班は、完成した砂防堰堤(ダム)の見学をしました。

A班は、作業現場へ行く道中に生息している草木の勉強をしました。学校の帰り道にも普段何気なしに見ていますが、今までじっくり見ることはなかったが、草木にも様々な種類があり、また、生息している意味があり、改めて勉強、観察することで、大きな発見がありました。元々、水の流れる谷に砂防堰堤工事を行ったのですが、山からの水はとてもきれいで、上流では、**天然のわさび**や、**みょうが**が取れるそうです。





続いてB班は、地層の勉強をしました。学校で地層の構造の勉強を行ってから、実際に自分の目で見て、多くの事が学べました。「**百聞は一見に如かず**」というように、目で見て、体で覚えた事は、いつまでも子どもたちの頭に残ることと思います。

建設現場では、なかなか教材になりそうな地層がはっきり見えるところは少ないのですが、この現場では、教科書に出てきそうな地層があり、説明がとてもしやすかったです。



C班の目の前に現れたのは、先ほど説明を受けた砂防堰堤(ダム)!! その**大きさ**にびっくりしたこと、なぜ真ん中が開いているのかなと新たな疑問が…?

ダムなら水を蓄えるものではないの?との質問に対し、本来のダムは、水を貯める事を目的としますが、この砂防堰堤というものは、大雨の時に発生する恐れのある**土石流**の発生を抑制するために作られているので、大きな石や木は食い止めても、水は、下流に放流するために真ん中が開いているのです

『建設機械に実際に乗ってみよう』

このCESAプログラムの一環として、子どもたちに建設現場で活躍している建設機械に搭乗していただきました。実際に乗っていただくことによって、建設機械からの目線で物事を見ていただき、そこから見える景色や、また死角の多さなどについて、学んでいただきたいということで毎回実施しております。



前は、よく見えるけど、後ろは、見えるところは少ないな。

地層や草木の勉強より、やっぱりこっちの方が楽しいなど、本音がこぼれていました。



あまり時間がなかったのですが、ゆっくり乗っていただくことはできませんでしたが、男の子も女の子もすごく興味を示してくれました。こんな体験から、将来、建設業で働きたいと考えてくれるようになると、私たちも、やいがいがあります。

『学校へ戻って』



学校に戻りまして、今回のCESAプログラムの感想を聞いてみると、

『本で見るより大変勉強になった』、『学校の帰り道で見かける草木についても、改めて観察したい』、『もっと機械に乗りたいかった』、『砂防ダムが、大きかった』など、様々なご意見を頂きました。

私たちと致しましては、子どもたちを教育するといったことは出来ませんが、今、いろんなことを吸収する子どもたちに対して、建設業だから出来る勉強の場の提供をしていきたい、このようなプログラムを開催しております。

この地域は、過去に土石流の発生により、多くの人命と財産を奪われた苦い経験があり、いつ発生するかわからない土石流については、必要不可欠な公共工事とも言えます。

この滋賀県は、周りが山に囲まれた地域であり、真ん中に琵琶湖があります。雨が降ると必ず山から琵琶湖に注がれます。この自然の摂理の中で、同じような土石流の発生する恐れのある谷は、数多くあり、公共投資の著しい削減により、工事が未着手のところがたくさんあります。近年よく見られますゲリラ豪雨などの発生は、土石流の発生の要因とも言えます。昔は、林業という産業が日本の経済を支え、生活に必要な薪を山から集め、山自体が整備され、自然の力で保水する機能を有していました。近年、林業は衰退し、手入れの行き届かない山は荒れ、本来有しているその保水機能が失われてきています。

無駄な公共事業は、たくさんあると思います。しかし、本当に必要な公共事業もあります。メディアは、悪いことだけを大々的に取り上げ、物事の本質については、伝えてくれないため、公共工事＝ムダとのイメージが定着してしまいました。高島鉦建 といたしましては、地域密着型、自然との共存をモットウに様々な活動を通じて、人々の生命の安全と、快適生活の推進を進めてまいりたいと考えております。

なぜか、サインを求められ、立ち往生する当社職員！！



サインなんてしたことないよ～！

平成20年7月11日

高島鉦建株式会社

古谷和也様

長浜市立神照小学校

第6学年担任

里山の自然と暮らしを守る砂防工事・地層の見学について（お礼）

梅雨が明け、本格的な夏の到来を感じる今日この頃です。

平素は、学校教育にご理解・ご協力をいただきましてありがとうございます。

先日は、ご多用のところ『里山の自然と暮らしを守る砂防工事－地層見学－』を開催していただき、そして、懇切丁寧に子どもたちにご指導を賜りまして、誠にありがとうございました。

子どもたちにとっては初めて経験することばかりで、たいへん有意義な学習になりました。「山すそに、あんな大きなものが造られていたとは知らなかった。」「夏休みに山に行ったら、たべられる植物をいっぱい探そう！」「今度は化石を見つけてみたい。」と、現地での学習が終わってからも、子どもたちの意欲的な姿を見ることができました。

きっと子どもたちの心には、防災意識や自然への関心が一層高まったのではないかと感じました。これら、皆様のご指導のお陰と感謝しております。

今後ともご指導を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、皆様のご多幸とご健康を心よりお祈り申し上げます。